
人形

暗闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人形

【Nコード】

N0375E

【作者名】

暗闇

【あらすじ】

近くにいたけど解り合えなかった、けど解り合おうとした二人

物心ついた時から母親は居なかった

僕は寂しかったのかもしれない

父は海外を飛び回る、忙しい毎日を送っていて

いつ帰ってくるかも解らなかった

それでも、確かに一緒に居てくれた

現実の思い出は、殆どが数分の思い出だったけど

僕に親と言う者の愛情を感じていた時間をくれた人は二人居た

父さんと、先生

お父さんは僕に先生をつけてくれた

その人が言うには、僕のお父さんが先生の先生らしい

先生は一緒に居てくれた

長い時間、ずっと一緒に

僕はお父さんと先生が大好きだった

六月の大雨の日

僕のお父さんは

死んだ

正しくは殺されのだが

先生が死んだ

親として、
あの子に何もしてあげ
かった先生

先生

どうしてですか？

どうして無理してでもあの子と一緒に居てあげなかったんですか？

あの子は愛情を欲していた、親の愛情を

あの人がこの世に残した物は

一つの大きな家と

何軒もの会社と

莫大な金と

一人の幼い天才

大きな家は、あの子がいらないと言ったので売った

何軒もの会社は、あの子が上に立ち指示している事で何とか存在している

莫大な金は、金庫の中で眠っている

そしてあの子、小さな天才は

人形の様になってしまった

どんな悲しいことがあっても泣くことは無く

どんな楽しい劇を見ても眉一つ動かさず

ただ、指示を下すだけの人形になってしまった

それは

貴方のせいですか？

私のせいですか？

それは

先生

あの子が壊れてしまったのは

私達大人のせいですか？

教えてください

怖く
て

私に
は

怖
く
て

答えを探すことが出来ません

すみません

先生

私はあの子が一番助けて欲しかった時に

助ける事を拒んでしまった

（後書き）

此処まで読んで下さった方に、お礼を申し上げます

まあ俺がグチグチ語っても面白くも何ともないので物語りの付け足しの様な物を

まず、子供と父親は確かに親子でした

父から愛情を貰い、未来を助けることを誓う子供

子供に愛情を注ぎ、最後の義務を果たす父

実際に会って触れあっていた時間は少なくとも、二人は確かに親子でした

ところで先生、先生は子供とはほぼ関係の無い人物でした

それでも、子供を愛し育てました

彼は子供と父の間に愛情が無いと勘違いしていました

けど、実際はあった

子供が人形になったのは、悲しみに耐えられなかったから

先生は確かに自分に愛情を注いでくれた

それは、父の存在していた時間の間だけだったのか

父の死と、先生が消えた絶望

それが子供を人形にしまったんです

彼が、勇気を振り絞り、また子供に愛情を注げば

きつとすぐに子供は人間に戻るでしょう

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0375e/>

人形

2010年10月20日03時09分発行